

## アイヌ政策推進交付金事業計画

1 事業名	むかわ町アイヌ政策推進事業
2 事業の種類	文化振興活動 ・ 地域・産業振興事業 ・ コミュニティ活動支援事業
3 事業の目的	アイヌ文化等の次世代への承継を確実なものとするとともに、地域に存するアイヌ文化等を発信し、地域内外におけるアイヌ関連の交流活動を活発化させ、魅力ある地域社会の形成を目標とする。
4 事業の概要	<p>(1)文化振興事業</p> <p>■アイヌ伝統等普及啓発事業</p> <p>○事業実施主体 むかわ町</p> <p>○事業の実施場所 鶴川中央小学校、穂別小学校、鶴川中学校、穂別中学校ほか</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 アイヌ文化を題材としたDVDを配布し、町内関係団体及び公共施設並びに学校等において活用するほか、町内小中学校における、アイヌ文化体験事業及び地場産品を活用した郷土給食を行うとともに、使用するアイヌ食材等に関する説明を行い、アイヌ文化の普及啓発を理解を促進する。</p> <p>(2)地域・産業振興事業</p> <p>■アイヌラッピングバス事業</p> <p>○事業実施主体 むかわ町</p> <p>○事業の実施場所 むかわ町</p> <p>○事業の実施期間 交付決定の日～令和6年3月</p> <p>○事業の内容と考え方 生活館(地域住民交流の場)を拠点にアイヌ文様をラッピングしたバスを運行し、アイヌの人々の利便性の確保及び向上を図るとともに、町内外の方に広くアイヌ文化の振興及び普及啓発を図る。</p>

<p>5 アイヌ施策推進地域計画における記載</p>	<p>4-2 アイヌの伝統等に関する理解の促進に資する事業</p> <p>■アイヌ伝統等普及啓発事業 …アイヌ文化を題材としたDVDを配布し、町内関係団体及び公共施設並びに学校等において活用するほか、町内小中学校における、アイヌ文化体験事業及び地場産品を活用した郷土給食を行う。</p> <p>4-3 観光の振興その他の産業の振興に資する事業</p> <p>■アイヌラッピングバス事業 …町内の地域住民交流の場である生活館を拠点にアイヌの人々の利便性を確保及び継続するために老朽化したバスを更新し、バス運行事業を実施する。</p>
<p>6 事業の成果目標等</p>	
<p>(1)成果目標の達成に向けた工程</p>	<p>(1)文化振興事業 ①アイヌ伝統等普及啓発事業 アイヌ文化を題材としたDVDを配布し、町内関係団体及び公共施設並びに学校等において活用するほか、町内小中学校における、アイヌ文化体験事業及び地場産品を活用した郷土給食を行うとともに、使用するアイヌ食材等に関する説明を行い、アイヌ文化の普及啓発を理解を促進することによって、アイヌの人々が誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、事業の浸透によって効果が高まると考えられる。</p> <p>(2)地域・産業振興事業 ①アイヌラッピングバス事業 アイヌの人々の利便性と生活の質を高めることによって、アイヌの人々が誇りをもって生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現を図る事業であり、アイヌ文様ラッピングバスの利用者数が増加すると考えられる。</p>
<p>(2)成果目標、(中間)目標年度(成果目標に対する現状値、及び成果目標の達成見込みについて記載すること)</p>	<p>(1)文化振興事業 アイヌ文化DVD視聴者数 (現状値) 0人/年間 (最終目標値) 600人/年間 アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数 (現状値) 0人/年間 (最終目標値) 2,000食/年間</p> <p>(2)地域・産業振興事業 アイヌラッピングバス事業 (現状値) 0人/年間 (最終目標値) 7,000人/年間</p>
<p>(3)成果目標の確認方法</p>	<p>KPIであるアイヌ文化DVD視聴者数、アイヌ料理やアイヌに縁のある食材を用いた郷土給食提供食数、アイヌラッピングバス事業利用者数について、実績値を公表する。</p>
<p>7 地域の概要</p>	
<p>(1)地域におけるアイヌ文化等の現状及び課題</p>	<p>むかわ町においては、「井目戸＝イモツペ(魚を釣る餌)現在の地名;宮戸(みやと)」、「鱒＝チン(熊皮を乾す処)現在の地名;汐見(しおみ)」などアイヌ語由来の地名が多く残されているとともに、安政4年(1857年)箱館奉行堀織部正に從属して一帯調査した玉虫左太夫の「入北記」において、鶴山川筋にコタンが下ム</p>

	<p>カワ(鷓川地区)10コタン52戸275人、上ムカワ(穂別地区)に11コタン81戸440人のアイヌの人々が生活を営んでいた記録と、安政5年(1858年)北海道の名付け親であり、むかわ町に三度訪れた松浦武四郎の「戊午東西蝦夷山川地理取調日誌」には、現在の一級河川「鷓川」とその支流・山系・コタンの人々の暮らし・踏査の日時などが記述され、歴史的にアイヌ文化やアイヌの方々との関わりが深い地域である。</p> <p>むかわ町のアイヌ協会は、昭和49年4月に設立した社団法人北海道アイヌ協会鷓川支部と昭和51年1月設立の穂別支部が、平成19年4月に合併し、むかわ支部となる。平成26年4月に公益法人化移行によりむかわアイヌ協会へと名称を変更。アイヌ協会は、これまでアイヌ文化の復興や伝承を図るとともに、事務局が所在するム・ペツ館を拠点としてアイヌの民族の伝統的儀礼を開催するなど、アイヌ文化等の発信を行ってきた。</p> <p>アイヌ文化伝承では、鷓川アイヌ文化伝承保存会を昭和55年に設立、昭和61年から継続してきたカムイノミが、平成6年に国の重要無形民俗文化保存団体に指定、現在もアイヌ古式舞踊を町内外で披露し伝承と文化交流を拓けている。</p> <p>また、ム・ペツ館の展示コーナーには、アイヌ関連資料の民具や毎年町民向けに行っているアイヌ文化教室(アイヌ文様刺繍講座など)で制作した多くの作品が展示されており、アイヌの歴史や文化を学ぶ機会の充実が図られており、町民の関心が一層高まりつつある。</p> <p>しかしながら、むかわアイヌ協会の中心的な活動拠点施設である汐見生活館の老朽化が著しく、日常的な利用にも支障を来している状況で、地域の新設要望も多く、加えて、今後増加すると考えられる高齢化による免許返納から地域の人々の交通アクセスの確保が課題となっている。</p> <p>近年、アイヌ関連団体会員の高齢化や経済的理由により文化伝承活動に専念することができないなど、アイヌ文化等の担い手が不足しており、次世代への円滑な継承が必要なことから、町民にアイヌ民族の歴史や文化等に触れる機会を設けることにより、共生社会の実現が図れるものと考えている。</p>
(2)施設等の管理運営体制	
(3)アイヌ関係団体及び地域住民の協力体制	<p>むかわ町アイヌ協会、宮戸地区自治会及び汐見地区自治会とは定期的に意見交換を行っている。</p>

## 8 収支予算

## (1) 収入の部

(単位:円)

区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
国庫補助金	19,920,000	0	19,920,000	0
市町村負担額	4,980,000	0	4,980,000	0
計	24,900,000	0	24,900,000	0

## (2) 支出の部

(単位:円)

経 費 区 分	本年度予算額 (本年度精算額)	前年度予算額 (本年度予算額)	比較増減	
			増	減
文化振興事業	1,642,000	0	1,642,000	0
地域・産業振興事業	23,258,000	0	23,258,000	0
コミュニティ活動支援事業	0	0	0	0
ア 工事費	(0)	(0)	(0)	(0)
ウ 測量設計費	(0)	(0)	(0)	(0)
合 計	24,900,000	0	24,900,000	0